

(質問)：一年前倒しにする必要があるほど第二保育園の改築に緊急性があるのか。

第五の方が木造で築年数も多いので、先にやるべきではないか。

(回答)：第二保育園については、まずは耐震診断をきちんとしていこうということで実施した。その結果改修するには多額の費用がかかることがわかり、「少しでも早くいい環境を」との考えに至った。保育園あり方検討委員会やプロジェクトの答申で第二保育園は地域住民の避難施設にもなっており町の中心部から手をつけることになった。特に第二保育園には2階に保育室があるという特徴をもっているため、安全面の配慮が必要である。

(質問)：20年度分散保育の調査は来入児も含めてやるのか。

(回答)：だっこの会に所属している方には実施する。入会していない方については10月24日の入園説明会の際に意向を聞く。

(質問)：分散の際、来入児が希望する園に行けないと困る。まだどこに行くか定まっていないうし、そうなった時に困らないようにするためにも他園の情報を早めに知りたい。

(回答)：資料にもあるが、希望する園での受け入れが可能である。他園の一日入園などの情報については調査の前に示す。

(質問)：他園に行ったら、帽子や名札や園児服の名前はどうか。

(回答)：帽子と名札は全園共通の物を使用している。園児服の名前の表記については園長会などで検討し、いい方法を考える。

(質問)：在園児の入園申し込みはどうするのか。

(回答)：在園児の手続きは必要ない。

(質問)：10月の調査をした後に希望する園に行けない可能性があるか。(在園児)

(回答)：分散先の園の決定は在園児を優先する。入園説明会の前に調査の結果がわかり園児の動向がはっきりする。